

2022 年度

学校評価 結果報告書

学校法人金剛学園

大阪金剛インターナショナル中高等学校

2022年度 大阪金剛インターナショナル中高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の在学生在の中で、お互いの文化や背景を尊重しながら国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できるような学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる "輝く学校" を目指し、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目標としている。

≪ 4G で躍進する金剛人 ≫

- ◆ 国際社会に適応出来るグローバル人材の育成 (Global)
- ◆ 正しい品性・人格を持った人間力と豊かな金剛人づくり (Goodness)
- ◆ 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成 (Greatest)
- ◆ 最適な教育環境の創出と幸せな学校づくり (Glitter)

2. 中期的目標

1. 国際人 (Global)

- ① 国際社会に適応出来るグローバル人材の育成
- ② 韓・日・英語の三つの語学力の向上とトリリンガルの創出
- ③ 多様な文化を体験することによる国際理解教育の実現
- ④ 多彩な "特化プログラム" の実践とグローバル人材の育成

2. 道徳人 (Goodness)

- ① 正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり
- ② 礼儀正しく、規則を守ることでできる基本的生活習慣の涵養
- ③ 学校行事や集団活動を通じ、社会生活に必要な協調性等を習得
- ④ 地域社会と共生する教育共同体の構築

3. 実力人 (Greatest)

- ① 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成
- ② 生徒のニーズに合わせた少人数教育の実現
- ③ 自ら学ぶ姿勢を養う授業及び持続的な研究と専門性の向上
- ④ 情報化社会に対応出来る教育内容の充実化と授業の改善

4. 輝く学校 (Glitter)

- ① 教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出
- ② 学校事務サービスの向上と情報公開
- ③ HP やフェイスブックを通じた迅速な告知活動
- ④ 安全教育の推進と防犯グッズや設備の充実化

3.本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
国際社会に適応できるグローバル人材の育成	授業における語学力向上	<p>【韓国語】 (中学校) 中学は1学年単位の習熟度別3クラス、2・3 学年による無学年制による5クラスで授業を実施。 (高等学校) 各学年習熟度別 4 レベルによる授業の実施。</p> <p>【英語】 (中学校) 各学年習熟度別 3 レベルによる授業の実施。 (高等学校) 各学年習熟度別3～4レベルによる授業を実施。</p> <p>【日本語】 海外からの入学生に対し国語の授業をすべて分班</p>	韓国語能力試験、英検、日本語能力検定試験などの結果及び、定期考査の結果などを指標とする。	無学年生による授業形態は、他学年と共に学ぶ利点はあるものの本校では効果が十分に発揮できず、学年ごとによる授業形態に戻すことで、生徒たちが積極的に授業に参加し、効果的に学べるようになってきている。 自分のレベルに合った授業を1教師に対して7名程度の生徒で学べる語学授業の環境により、韓国語・英語を学ぶ意欲が高まり、主体的に検定試を受験する生徒が増え学習意欲が高まった。 韓国から来て間もない生徒が、日本語を学ぶ時間が確保され日本語習得が早い状態である。 また、慣れない日本での生活に適応するためのサポートができることから、日本語基礎授業が重要である。
	生きた外国語を身につける	<p>【韓国語】 夏季、冬季 韓国短期語学研修(中高) 高2国際総合コース全員留学</p> <p>【英語】 (高校)NZ 夏期短期留学 (中高) セブ島英語キャンプ</p>	2年間実施できなかったが、ようやく実施ができた。	希望制の語学研修は希望者は少なかったものの、計画的に実施することができた。 高2国際総合コース全員留学がスタートでき生徒の語学力向上や多文化を学ぶ機会を設けることができた。
	異文化交流を通じ、母語と母国語の重要性を知る	<p>【韓国語】 オン・オフによる国際交流の実施</p>	グローバル交流団を中心とした生徒によるオン・オフライン国際交流の実施	オンラインだけでなく、対面型交流活動も数は少ないものの実施が可能となった。 グローバル交流団中心に実施してはいたが、関心のある生徒も次第に増え、交流に参加希望する生徒も増えてきた。

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
2 正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり	礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を守れる力を養う	登校指導 毎朝、登校時間に正門にて身だしなみの指導と同時に礼節指導	礼節・身だしなみを正すことで授業姿勢やトラブルを未然に防ぐ	礼節・身だしなみについて登校時に指導することで、校則を守る習慣が身についてきた。
		遅刻指導 月ごとに遅刻回数をポイント制にし、遅刻の軽減に向けて指導	担任が常時生徒の遅刻状況を確認し、アプローチをかけることで軽減につなげる	担任からのアプローチで遅刻が軽減したケースもあったが、特定の学年・生徒の遅刻が増え続け、年間を通して遅刻数は増加した。
		全体集会 月初め木曜日に全体集会を開催し、本校の生徒としての誇りを持たせる為の講話や生徒会が決めた月間目標を発表	本校の生徒としての在り方を講話し、生徒一人一人の自尊感情を向上させる。 全体としての目標を共有する	年間を通して目標を掲げ、金剛学園の生徒としての意識を向上させることができた。 また、生徒会からの新しい取り組みも増え、生徒たちが主体となって集会を進めつつある。
		フォーサイト手帳を導入し、週単位や1日のスケジュール管理を行う。	規則正しい生活習慣だけでなく、学習習慣化をめざす。	手帳にその日のスケジュールなどを記入し、忘れ物防止や毎日決まった時間に学習する習慣を身につけ始めた生徒がいる。 しかし、スケジュール帳の管理や記入方法に慣れない生徒も多く、手帳の使い方指導に課題が残る。
	体験学習や集団活動を通じて、社会生活に必要な協調性や謙虚さを学ぶ	定期的に学年・学校全体を通して、ともに活動する機会を設け、コミュニケーション能力の向上、人間関係の形成、協調性を育むための機会を設定する。	各活動後に必ずアンケートをとり、生徒の満足度を図り、次の活動に生かす	他学年との交流が活発であり、よりより人間関係を育むことができてきている。上の学年の生徒たちが、下の学年の面倒を見る姿も多くみられる。
		4月：始業式 クラスメイトとのコミュニケーションを図る「学級目標づくり」 4月：新入生宿泊オリエンテーション	学年の枠を超えた活動をすることで、コミュニケーション能力を高め、社会生活に不可欠な「協調性」の育成	新学期にクラスメイトと活動する時間からスタートするため、1年間のクラスの雰囲気づくりのきっかけとなっている。 新入生宿泊オリエンテーションは中止となり、1日での実施ではあったが、新入生どうしの交流ができた。
		5月体育祭 中高等学校全体による縦割り活動とし、「応援合戦」	学年の枠を超えた人間関係の育成。	高校3年生がリーダーとなり、他学年を取りまとめ、体育大会の応援合戦の練習を集中的に行うことで、他学年との交流だけでなくみんなで協力する大切さや団結力を育むことができた。
		1月：旧正月 旧正月行事として韓国の伝統的な遊びの体験	伝統的な遊びの享受と多文化理解。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今年度は中止となった。

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>3 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成教師の授業力を高める</p>	<p>教師の授業力を高める</p>	<p>新学年度教職員研修 2022年度の方針共有 学校間の枠を越えた交流 小中高一貫授業の推進 夏季学校種別研修の実施</p>	<p>校内研修及び外部講師を通して授業力の向上に努める。</p>	<p>新学年度スタート時に教職員研修を実施することで、教師間の意識統一や親睦を通して、チームワークを高めることができた。 夏季休暇中に中高が目指す教育像の確認し、協力関係を高める研修となった</p>
		<p>外部教育顧問の導入。</p>	<p>最新の教育情報の提供</p>	<p>研究授業の講評会でさまざまなアドバイスと最新の教育情報を提供してもらうことで、教師力を高めるきっかけとなった。</p>
		<p>月1回の研究授業の実施。</p>	<p>研究授業を互に見学し、見学後講評会を開く。 学校評価の指標とする。</p>	<p>月1回研究授業を全員で見学し、研究授業後の講評会でさらに授業内容について教師間で意見を交わすことで、授業の在り方について考える機会となった。</p>
		<p>授業満足度調査年2回実施。</p>	<p>年2回授業満足度を実施し、生徒の満足度を確認し、教師の意識改善・授業改善を図る。</p>	<p>年2回の生徒アンケートをもとに、各先生たちは自分の授業を振り返り、授業力向上に参考となっている。</p>

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出	生徒たちの安全確保のため、危機管理委員会を設置し、危機管理体制を強化する	火災・地震訓練 訓練一週間前から、火災が起きた場合を想定したALを各学年に実施 年2回実施	事前学習としてALを取り入れ、訓練に危機感をもたせた	前回の教職員アンケート（反省）を職員会議にて共有し、生徒だけでなく教員も、訓練のための訓練にならないよう意識して取り組むことができた。
		SNS対策 中高全体でSNSについて学ぶ	SNSにおいて、人を傷つける、あるいは道徳的に不適切な動画を上げてはいけないことを学ばせる	SNSに関するトラブルもあり、事例を紹介しながらSNSの使用方法などを学んだ。
		学校危機管理 中学生対象に学校危機に関する内容を実施。その後、アンケート、感想文	自分の身は自分で守るため、校内だけでなく登下校時の危機管理まで考えさせる	不審者の心理や、行動が起きる環境などを学び、命の大切さを周知させた。

4. アンケート実施時期と回答率

対象	実施日	回答/回答率
中学校	2023年3月16日	40名/48名 回答率83.3%
高等学校	2023年3月16日	46名/49名 回答率93.9%
保護者	2023年3月14～18日	中学34世帯/67世帯 回答率50.7%
		高校32世帯/77世帯 回答率41.6%
教師	2023年3月20日	16名/20名 回答率80.0%

2022年度学校評価アンケート結果【中学校・生徒】

実施日：2023年3月16日

対象生徒数：48名中40名の回答（回答率：83.3%）

「思う」3段階合計比

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2022年度	2021年度
1	学校生活は楽しいですか	24.4	42.2	20	11.1	2.2	86.6	87.5
2	目標を持って学校生活が送れていますか	6.7	31.1	35.6	22.2	4.4	73.4	72.5
3	韓国語（日本語）が上達している実感がありますか	28.9	20	31.1	8.9	11.1	80	85
4	英語が上達している実感がありますか	17.8	20	31.1	17.8	13.3	68.9	80
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	24.4	40	24.4	8.9	2.2	88.8	87.5
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	35.6	40	20	4.4	0	95.6	90
7	先生の授業はわかりやすいですか	26.7	42.2	24.4	6.7	0	93.3	90
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	15.6	26.7	40	11.1	6.7	82.3	85
9	計画的に家庭学習ができていますか	4.4	17.8	35.6	20	22.2	57.8	50
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	13.3	28.9	51.1	4.4	2.2	93.3	87.5
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	26.7	24.4	40	8.9	0	91.1	87.5
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	13.3	22.2	42.2	8.9	13.3	77.7	72.5
13	しっかりと挨拶ができていますか	37.8	26.7	26.7	2.2	6.7	91.2	95
14	学校生活の決まりを守っていますか	35.6	35.6	22.2	2.2	4.4	93.4	90
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	20	17.8	17.8	15.6	28.9	55.6	57.5
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	44.4	26.7	24.4	2.2	2.2	95.5	92.5
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	22.2	22.2	35.6	8.9	11.1	80	85
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	13.3	17.8	53.3	11.1	4.4	84.4	89.5
19	部活動は活発だと思いますか	22.2	40	20	8.9	8.9	82.2	77.5
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	22.2	33.3	40	0	4.4	95.5	95

*数値はすべて%である。

2022年度学校評価アンケート結果【高等学校・生徒】

実施日：2023年3月16日

対象生徒数：49名中46名の回答（回答率：93.9%）

「思う」3段階の合計比較

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2022年度	2021年度
1	学校生活は楽しいですか	42	32	20	6	0	94	69.6
2	目標を持って学校生活が送れていますか	26	36	24	8	6	86	76.2
3	韓国語（日本語）が上達している実感がありますか	42	30	20	6	2	92	76.1
4	英語が上達している実感がありますか	16	20	46	4	14	82	69.5
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	53.1	24.5	22.4	0	0	100	82.7
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	36	32	32	0	0	100	84.8
7	先生の授業はわかりやすいですか	30	42	24	4	0	96	87
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	38	26	26	8	2	90	73.9
9	計画的に家庭学習ができていますか	18	20	28	16	18	66	52.2
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	32	28	36	4	0	96	60.9
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	50	20	26	4	0	96	80.5
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	28	24	34	12	2	86	58.7
13	しっかりと挨拶ができていますか	60	30	10	0	0	100	91.3
14	学校生活の決まりを守っていますか	52	30	16	0	2	98	80.5
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	18	16	16	12	38	50	63
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	60	18	20	0	2	98	82.6
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	36	24	30	6	4	90	71.8
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	22	24	38	8	8	84	71.7
19	部活動は活発だと思いますか	36.7	18.4	32.7	6.1	6.1	87.8	67.4
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	44	26	28	2	0	98	69.6

*数値はすべて%である。

2022年度学校評価アンケート結果【中学校・保護者】

実施日：2023年3月14～18日

対象保護者数：67名中34名の回答（回答率：50.7%）

「思う」3段階の合計比較

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2022年度	2021年度
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	26.5	41.2	23.5	5.9	2.9	91.2	91.7
2	学校はホームページでよく情報を発信している	29.4	44.1	14.7	8.8	2.9	88.2	89.6
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	44.1	32.4	20.6	2.9	0	97.1	87.5
4	子どもは韓国語（日本語）・英語の語学力が向上している	41.2	32.4	17.6	8.8	0	91.2	85.4
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	26.5	44.1	14.7	5.9	8.8	85.3	87.5
6	子どもは明るく学校生活を送っている	23.5	41.2	17.6	11.8	5.9	82.3	85.5
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	8.8	50	23.5	0	17.6	82.3	91.7
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	35.3	38.2	23.5	0	2.9	97	89.7
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	29.4	38.2	23.5	2.9	5.9	91.1	95.8
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	14.7	55.9	20.6	2.9	5.9	91.2	87.5
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	14.7	44.1	20.6	5.9	14.7	79.4	89.7
12	授業はわかりやすいようだ	14.7	47.1	35.3	2.9	0	97.1	81.2
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	23.5	38.2	26.5	8.8	2.9	88.2	87.5
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	14.7	41.2	32.4	5.9	5.9	88.3	95.8
15	学校の進路指導は適切に行われている	8.8	41.2	29.4	14.7	5.9	79.4	87.2
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	14.7	38.2	32.4	8.8	5.9	85.3	81.3
17	部活動は活発である	20.6	44.1	23.5	2.9	8.8	88.2	77.1
18	生徒会活動は活発である	29.4	35.3	29.4	2.9	2.9	94.1	91.7
19	学校は事故の防止に配慮している	20.6	38.2	29.4	8.8	2.9	88.2	91.7
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	14.7	44.1	32.4	5.9	2.9	91.2	89.6

*数値はすべて%である。

2022年度学校評価アンケート結果【高等学校・保護者】

実施日：2023年3月14～18日

対象保護者数：77名中32名の回答（回答率：41.6%）

「思う」3段階の合計比較

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2022年度	2021年度
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	40.6	34.4	18.8	6.3	0	93.8	91.1
2	学校はホームページでよく情報を発信している	43.8	34.4	21.8	0	0	100	91.3
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	65.6	15.6	18.8	0	0	100	90.9
4	子どもは韓国語（日本語）・英語の語学力が向上している	53.1	25	18.8	3.1	0	96.9	88.3
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	31.3	53.1	15.6	0	0	100	88.2
6	子どもは明るく学校生活を送っている	50	31.3	15.6	3.1	0	96.9	88.3
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	46.9	25	25	0	3.1	96.9	79.4
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	59.4	25	15.6	0	0	100	82.3
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	53.1	28.1	12.5	6.3	0	93.7	85.3
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	34.4	40.6	21.9	3.1	0	96.9	91.2
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	31.3	37.5	25	6.3	0	93.8	76.5
12	授業はわかりやすいようだ	34.4	34.4	28.1	3.1	0	96.9	97
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	28.1	40.6	25	6.3	0	93.7	82.4
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	43.8	34.4	15.6	6.3	0	93.8	87.9
15	学校の進路指導は適切に行われている	34.4	37.5	21.9	6.3	0	93.8	82.3
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	25	37.5	31.3	6.3	0	93.8	64.7
17	部活動は活発である	25	37.5	28.1	9.4	0	90.6	85.3
18	生徒会活動は活発である	25	37.5	37.5	0	0	100	91.2
19	学校は事故の防止に配慮している	28.1	34.4	34.4	3.1	0	96.9	82.3
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	21.9	31.3	37.5	9.4	0	90.7	88.2

*数値はすべて%である。

2022年度学校評価アンケート結果【中高等学校教師】

実施日：2023年3月20日

対象教師：20名中16名の回答（回答率：80.0%）

「思う」3段階の合計比較

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2022年度	2021年度
1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	31.3	37.5	18.8	12.4	0	87.6	87.6
2	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	37.5	37.5	25	0	0	100	93.8
3	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	18.8	50	25	6.2	0	93.8	87.6
4	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動がされている。	31.3	31.3	31.3	6.1	0	93.9	81.4
5	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	25	37.5	31.3	6.2	0	93.8	93.8
6	学校の予算、決算の収支について理解している。	50	25	25	0	0	100	93.8
7	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	18.7	50	31.3	0	0	100	93.8
8	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策は十分とられている。	37.5	31.3	18.7	12.5	0	87.5	93.8
9	地域や地域住民との交流ができています。	37.5	12.5	37.5	50	0	87.5	93.8
10	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	31.3	31.3	31.3	6.1	0	93.9	68.8
11	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	50	31.3	18.7	0	0	100	100
12	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	50	25	18.7	6.1	0	93.7	100
13	生徒の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	31.3	50	18.7	0	0	100	100
14	主体的な生徒会活動をできるように指導し、支援している。	6.2	68.9	18.8	6.2	0	93.9	87.6
15	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	0	18.8	18.8	62.4	0	37.6	93.8
16	部活動は活発である。	25	50	25	0	0	100	62.6
17	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	18.8	62.4	18.8	0	0	100	81.3
18	生徒の生活指導をする組織的な体制があり、一貫した生徒指導を行っている。	62.4	18.8	18.8	0	0	100	93.8
19	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	62.4	18.8	18.8	0	0	100	87.5
20	学習習慣の定着を指導する体制があり、生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	25	62.5	12.5	0	0	100	100

*数値はすべて%である。

1. 生徒アンケートに関する分析と対策

<分析>

1) 主体性<質問番号 9>

高校では「家庭学習ができています」と答えている生徒は昨年比べて高まっている。一方、中学校では57%程度であり、昨年よりは高まっているものの依然として低い状態である。

2) 語学力<質問番号 3・4>

高校は韓国語・英語共に上達度が高まっていると回答が得られたが、中学では英語の上達度を感じられない生徒増加している。

3) 授業力<質問番号 7・10>

中高ともに「授業がわかりやすい」「学校は学力を伸ばしてくれている」と感じている生徒が、大幅に増加している。

4) カウンセリング力<質問番号 12>

中学は昨年に引き続き7割の生徒が「先生に悩みや相談などがしやすい」という回答が得られた。また、高校について昨年よりも大幅に増加している。

5) 友人関係<質問番号 15>

中高共に半数以上の生徒が、「人間関係に悩むことがある」という回答である。

<傾向と対策>

1) 語学力が身についていると実感している中高生格差

高校では、全員留学および進学のために語学学習を熱心に行っている生徒が多く、年々実力が高まっている。一方中学では、内部進学者が入学当初から語学力が高く、上達した実感が得られていない生徒が増えている。語学力を高めるため教科での対策が必要である。

2) 問題解決型「探究授業」による主体的な学び

高校の授業では「探求学習」の導入により、授業外で準備しなければならない課題も多くなっていることから主体的に取り組む姿勢が高まっている。一方、中学では基礎知識の学びが重要であるが、家庭で学習しようとする意欲を持たせることに難しさを感じる

3) 生徒が「相談しやすい教員」になるために

生徒たちが、休憩時間や放課後に教師たちと会話をしている場面も多くみられる。また年3回の生徒面談期間なども設け、すべて生徒と話ができるよう各教師が努力が結果に出始めていると思う。

4) コミュニケーション力が低下する生徒

友人関係で悩む生徒が年々増加している。リアルに会話をすることが減り、SNSなどを通じた会話が中心となり、うまく友人関係を築けない生徒が増えている。また、傷つきやすく自身のない生徒も増加傾向にあり、生徒たちの自尊感情を高め、成功体験をさせることが必要である。

2. 保護者からのアンケートから感じられる点

<分析>

中学高校ともに、ほとんどの項目で80%を上回る高評価が得られており、学校の教育内容に満足・信頼を得られ始めているのではないかと考えられる。

ただし、「やや思わない」「思わない」という回答をされた保護者も数名いることは無視できない。

<対策>

中学では「生活指導の方針」では、生徒への注意の仕方などの指摘を受けることもあり、ただ叱るだけでなく、生徒たちの成長につながるような指導ができるようにしたい。また「適切な進路指導」についても満足度が下がっている。本校の一番の課題でもあるのが進学指導であると考えため検討していきたい。

高校では高評価を得られており、「思わない」という回答がゼロの項目も多い。この評価が継続できるよう、さらに授業力・指導力を高めるための教師研修を定期的に行い、信頼される学校としてさらに成長できるように努力をしたい。

3. 教職員からのアンケートの結果

昨年までは、教師間の入れ替えが激しかったことで学校の建学の精神の浸透度や教師間の連携不足などが課題であった。そのため、教師間の入れ替えがあっても建学の精神や教師間の連携を強化するために、密にコミュニケーションをとってきた。

また、生徒に関する情報の共有を密に行うとともに、教科別協議会などをおして、各教科の授業力を高め「わかる授業」ができるように努めてきた。また、月1回の全体研修会を行い、どのような授業をすべきなのか、生徒の語学力や学力を高めるための手法などを学ぶ機会を進めてきたが、これらも継続して実施していく。

2022 年度 学校評価アンケート 生徒・保護者の意見

<中学校>

★生徒からの意見

- ・部活の時間をもう少し長くしてほしい。
- ・放課後、携帯 OK してほしい。
- ・文化祭のような盛り上がる行事がもっと増やしてほしい。
- ・校則を見直してほしい。
- ・いつもありがとうございます。

★保護者からの意見

- ・図書蔵書が少ない。
- ・授業教科によって先生の熱量に差がある。
- ・他学年との交流が多いのは、素晴らしい実践です。
- ・多様性をもっと尊重してほしい。
- ・携帯電話の指導で、没収するのは見直して欲しい。
- ・部活動をもっとアピールしてほしい。
- ・部活動を兼部できるようにしてほしい。

<高等学校>

★生徒からの意見

- ・自動販売機にコーンスープやココアを入れてほしい。
- ・クラスの中で伝わる情報が違うことが多い。
- ・修学旅行はみんなで行きたい。
- ・一部の先生が生徒の意見を聞いてくれない。
- ・いつもありがとうございます。

★保護者からの意見

- ・スケジュール確認がしたいので、ホームページにカレンダーを入れてほしい。
- ・学校前をコンテナ車が頻繁に通るのが気になる。
- ・学期終わりにクラスの集合写真を撮ってほしい。

以上

2022年度学校評価 学校関係者評価委員会報告書

1. 実施日時：2023年10月21日(土) 14時30分～16時

2. 場所：本校会議室

3. 出席者名簿

No.	氏名	役職
1	姜 信哲	大阪金剛インターナショナル小中高等学校 校長
2	花田 昌美	大阪金剛インターナショナル中高等学校 教頭
3	玄 勝己	大阪金剛インターナショナル小学校 教頭
4	趙 誠洙	金剛学園PTA 直前会長
5	米田百合子	金剛学園PTA 財務
6	有村 幸雄	金剛学園PTA 会計監査
7	朴 東赫	金剛学園PTA 常置委員
8	浅井 由布子	金剛学園PTA 常置委員

4. 2022年度中高等学校で実施した「学校評価アンケート結果」「自己評価」の分析結果について評価委員会で報告し以下の意見が出たので集約しました。

- ・保護者の意見が多様化しているが、学校としてはぶれずに対応してほしい。
- ・「学校生活が楽しい」と生徒たちが思っていることが素晴らしい。

以上